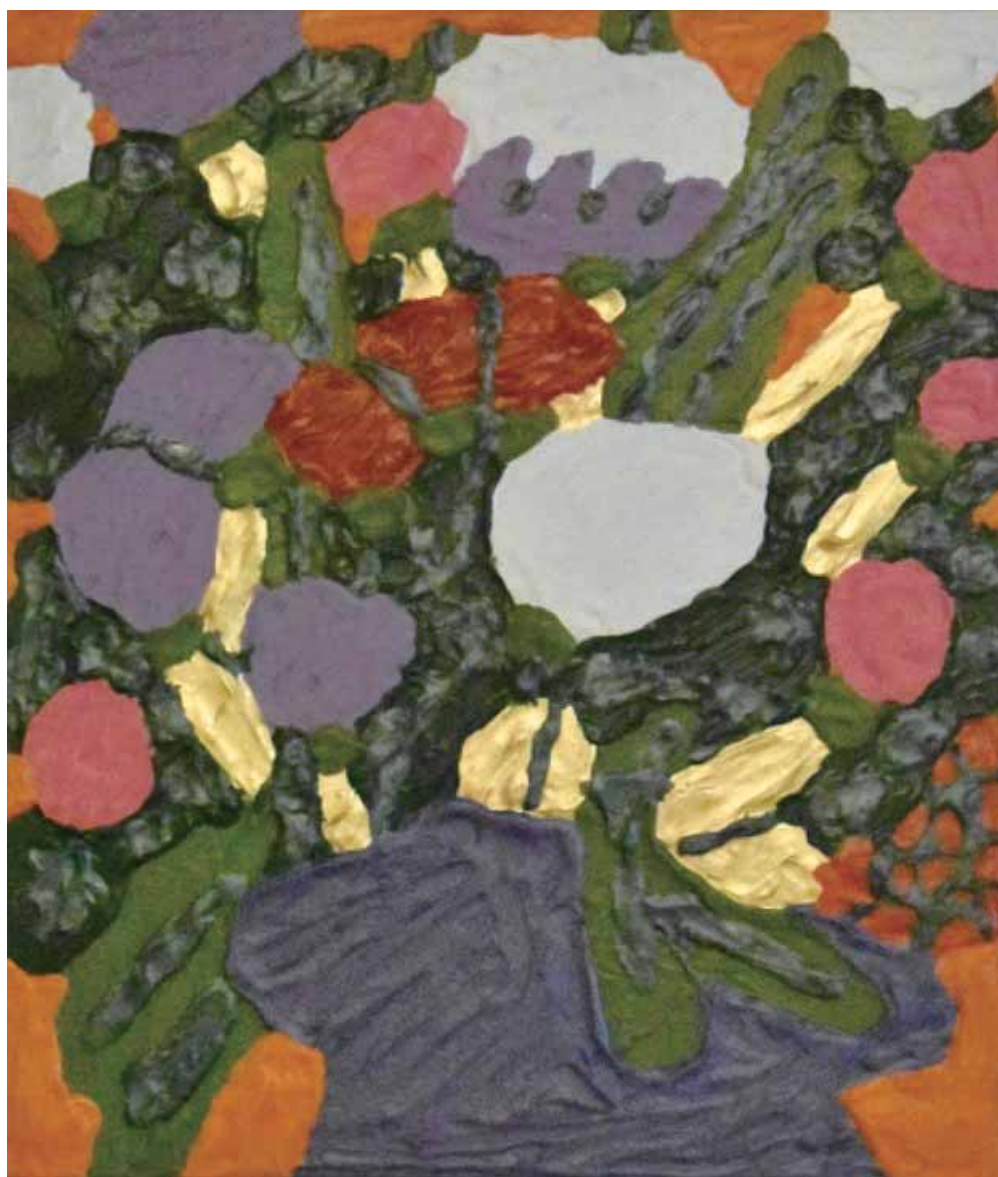


## Fukushi Niigata

2025  
第872号

4月号

## CONTENTS



絵「カーネーション」 作・新井 里沙(加茂市)  
作品よもやまー花瓶のカーネーションなどを金色の絵の具も使い豪華な趣に

卷頭特集

「ホームホスピス、新潟市にも」看護師ら

(2・3面)

● 福祉マンガ大賞受賞者インタビュー

● 県社協、新年度の予算と事業



## 安心して最期までの居場所

# もう一つのわが家 新潟にも

北区に拠点の訪問看護師ら計画

## 一軒家に5、6人入居

### 必要サポート受け生活

加齢や病気、障害などで支援が必要になった人たちが安心して暮らせる「もう一つのわが家」をうたう「ホームホスピス」が九州や西日本を中心に増えている。全国ホームホスピス協会（本部・宮崎市）が推進する施設を県内で初めて、新潟市北区にも開設しようと、北区に拠点を置く「訪問看護ステーションふくふく」の看護師たちが準備を進める。長寿高齢時代に「ついのすみか」の選択肢が増えるのは歓迎すべきだが、ホームホスピスとは何か、有料老人ホームとはどう違うのか—などについて「ふくふく」代表の松井美嘉子さんに聞いた。

—聞きなれないホームホスピスだが「看取り」に近い施設か？

「全国ホームホスピス協会（宮崎市）の市原美穂理事長が述べているように、



訪問看護ステーション ふくふく

（新潟市北区松浜）

松井 美嘉子 代表

看取りの場や最期を過ごす場と思われがちですが違います。協会が推進するホームホスピスは安心して最期まで自分らしく暮らせる居場所です」

—もう少し具体的に。

「宮崎市市原理事長が始めた『かあさんの家』がホームホスピス第一号ですが、きっかけは『家に帰りたい人が最期まで暮らせる所はないか』との相談を受けたことで、もう一つのわが家

を目指したのでした」

「一軒家に5、6人が入居し、常駐スタッフから24時間サポートを受けながら生活します。健康状態によっては医療など、外部の専門チームのサポートも受けられます」

—「安心して最期まで」はこの施設もうたい文句にしそうだ。他の有料老人ホームやナーシングホームなどの違いは？

「まず、わが家のように『住宅型』です。年齢も病名も介護度も条件はなく、利用したい方が最期まで暮らせます。また、夜だけの利用などの希望にも柔軟に対応します」

—ホームホスピスをどこで知ったのか？

「約10年前に新潟県内で訪問看護師として活動を始めたのですが、それ以前は東京で日本訪問介護財団に所属していました。その頃、宮崎にある『かあさんの家』を知り、気になり始めました」

ホームホスピス

全国協会が推進

巻頭特集

## 協会理事長、福島で講演

# 「わが家」力説に感銘

## 有志と訪看続け準備

—その後、どうして新潟でホームホスピスを開設したいと思ったのか？

「今から4年ほど前、市原理事長が福島で講演した際に、関心を持つ看護師計

3人で新潟から聞きに行き『もう一つのわが家をつくらう』との理念に感銘しました。ホームホスピスは宮崎発祥なので九州や関西で開設数が多いけど、東日本は少ない。『新潟にも』の考えが一致した看護師の有志計4人が活動を



ホームホスピスのイメージ  
(©2021 全国ホームホスピス協会)

## 松浜で民家確保めど 運営へ「一社」設立

を知ってもらおうと、北区松浜で合同会社『訪問看護ステーションふくふく』を開設しました—  
—なぜに北

区松浜？

「浜や漁師町という土地柄に魅力を感じました。同時に、スタッフの実家が築後100年という古民家で、そこを訪問看護事務所

として使えたことが大きい」

—ホームホスピスの名称は全国ホームホスピス協会の登録商標ですね。

「協会は『似て非なるホームホスピスの増加』を防ぐと名称を商標登録し、運営などに基準を設けています。さらに、開設者となる

には、協会が実施する研修の受講が必要です」

—その研修も受けた？  
「訪看ステーションを始める前に受けました」

—ホームホスピスの開設と運営の主体は？

「開設準備へ向け、非営利団体としての『一般社団法人ふくふく』を設立しました。合同会社は従来通り、訪看ステーションの運営とします」

—開設スケジュールは？  
「松浜で一軒家を準備できそうです。資金のめどが付き次第、できる限り早く、翌8年度までには開設にこぎ着けたいと思います」

### ホームホスピス

2015（平成27）年に設立の一般社団法人「全国ホームホスピス協会」（市原美穂理

に、友として、伴って暮らす」という「とも暮らし」を掲げる。入居者は24時間の生活支援や、訪問の介護・看護・診療ケアが受けられる。最期までの入居のほか、退院後に自立

医療や介護・福祉の枠になりホームホスピスについて、協会は名称を商標登録。さらに、ケアや運営についても「基準」を設けた。

### 全国協会

## 終末医療でなく安らぐ場強調 商標登録し運営ケアにも基準

事長、本部・宮崎市）が推進するケア施設。九州や西日本を中心に48法人が65軒のホームホスピスを運営。「もう一つのわが家」を目指して一軒家に5、6人の少人数で入居。「共

生活できるまでや、介護家族が不在になる際の一時的入居も可能。

発祥は、市原理事長が宮崎市内の民家を借り、2004年に始めた「かあさんの家」。

名称について、協会ホームページは「最期を過ごす看取りの場ではなく、日常の暮らしや命が守られ、人生の最終段階を穏やかに迎える居場所」と強調。ホームホスピス開設者となるには、協会の講習受講が必要。

協会の連絡先は電話0985（65）8087。

# 令和7年度の主な事業 新潟県社会福祉協議会

## I みんなで育む福祉のまちづくり

- (1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
  - ① 新潟県民福祉大会開催事業【継続・自主、共募：2,872 千円】
    - ・開催地：魚沼市 11月6日
  - ② 福祉・介護・健康フェア開催事業【継続・自主、共募：1,894 千円】
    - ・開催地：新潟市 他
- (2) 地域福祉活動・市町村社協活動支援事業
  - ① 市町村社協会長研修【継続・自主：410 千円】
    - ・開催地：柏崎市
  - ② 市町村社協職員課題別研修【継続・自主、補助：589 千円】
- (3) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進【継続・補助：424 千円】＜活動指針＞
  - ① 市町村社協が抱える社会課題の抽出及び取組の検討
    - ・市町村社協への個別訪問調査
  - ② 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり
    - ・地域共生社会実現に向けた取組
    - ・プラットフォームづくりの推進
    - ・新たな社会課題の解決に向けた具体的取組
- (4) ボランティア活動・社会貢献活動推進事業
  - ① 災害時福祉支援活動の推進【一部新規・補助：1,940 千円】
    - ・災害アドバイザー派遣事業
    - ・圏域災害ボランティア担当者会議
    - ・災害支援体制におけるICT取組推進
  - ② 福祉教育の推進【継続・補助：248 千円】
    - ・地域福祉推進セミナー（福祉教育の視点から）
- (5) 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言、要望活動【継続・自主：185 千円】
  - ① 福祉団体懇談会の開催や共同要望活動の実施
- (6) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営（業務一部受託）【一部新規・委託：5,500 千円】
  - ① 災害派遣福祉チームの養成等、登録管理事務
  - ② 避難所等運営連携体制整備（保健医療分野との連携）【新規】
  - ③ 防災行政と福祉の連携体制構築（総合防災訓練への参加等）【新規】



第 74 回新潟県民福祉大会

## II 一人ひとりの自立生活づくり

- (1) 明るい長寿社会づくり推進事業
  - ① にいがたねりんピック【継続・補助：3,885 千円】
  - ② 全国健康福祉祭選手派遣【継続・補助：5,996 千円】
    - ・開催地：岐阜県 10月18～21日
  - ③ シニアカレッジ新潟【継続・補助：7,799 千円】
  - ④ シニアカレッジ新潟卒業生の地域活動・交流促進事業【継続・補助：210 千円】
  - ⑤ 高齢者等の健康増進・地域参画促進に向けた講演会【継続・補助：223 千円】
- (2) 認知症コールセンター事業【継続・委託：4,128 千円】
- (3) 障害者福祉活動推進事業【継続・補助：8,578 千円】
  - ① 福祉の店パレット新潟店の運営
  - ② 福祉の店パレット新潟店周年祭・農福マルシェ
  - ③ 授産事業の活性化・自主製品の開発支援
  - ④ 障害者就労支援事業
  - ⑤ 障害者就労×持続可能なビジネスモデルの展開
- (4) 生活福祉資金貸付事業【継続・補助：貸付金交付額 35,804 千円】
- (5) 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【一新・補助：貸付金交付額 9,660 千円】
- (6) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業【一新・補助：貸付金交付額 19,403 千円】
- (7) 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進【継続・補助：100 千円】＜活動指針＞
  - ① 生活困窮者自立支援に関わる社協職員等研修会
  - ② 生活福祉資金事務担当者研修会



ねりんピック鳥取



シニアカレッジ新潟

### Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり

- (1) 地域における権利擁護体制の推進＜活動指針＞
- ① 日常生活自立支援事業〔継続・補助：47,711 千円〕
    - ・ 29 社協に委託し実施
    - ・ 業務監督実地指導
    - ・ 専門員研修会
    - ・ 生活支援員研修会
    - ・ 人材育成推進ワーキング・チーム
  - ② 成年後見制度普及促進事業
    - 〔継続・委託、共募、自主：3,593 千円〕
    - ・ 訪問検討会・体制整備支援等アドバイザー派遣
    - ・ 成年後見制度担当者研修会
    - ・ 市町村長申立推進研修会（基礎編・応用編）
    - ・ 中核機関担当者研修会
    - ・ 法人後見研修（スタートアップ研修・ネットワーク会議）
    - ・ 権利擁護人材育成モデル事業
- (2) 福祉サービス利用者の苦情解決の支援  
〔継続・補助：6,000 千円〕
- ① 福祉サービス運営適正化委員会事業

- ・ 多様な人材の福祉分野への参入促進
  - ・ 情報発信の工夫と活用の促進
  - ・ 関係機関との連携強化
- ③ 介護福祉士等修学資金貸付事業
    - 〔継続・補助：貸付金交付額 258,260 千円〕
    - ・ 介護福祉士・社会福祉士修学資金
    - ・ 介護福祉士実務者研修受講資金
    - ・ 離職介護人材再就職準備金
  - ④ 保育士修学資金貸付等事業
    - 〔継続・補助：貸付金交付額 91,830 千円〕
    - ・ 保育士修学資金
    - ・ 潜在保育士再就職準備金
  - ⑤ 県民介護知識・技術習得講座実施事業
    - 〔継続・委託：4,013 千円〕
    - ・ 県民介護知識・技術習得講座
- (2) 社会福祉研修センター運営事業  
〔一部新規・委託、自主：7,432 千円〕
- ① カスタマーハラスメント対応研修〔新規〕
  - ② キャリアパス運用支援研修〔新規〕
  - ③ 法人・事業所に対しての研修事業に関する調査
- (3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業  
〔継続・指定：4,127 千円〕
- ・ 試験日：10 月 12 日
  - ・ 開催地：新潟市、三条市 他

### Ⅳ 福祉を支える人づくり

- (1) 福祉人材の確保等
- ① 福祉人材センター運営事業
    - 〔一部新規・委託：14,107 千円〕
    - ・ 県内各地域での出張相談の実施
    - ・ 人材確保・育成・定着に関する法人支援〔新規〕
  - ② 福祉職の魅力についての啓発活動の推進  
〔継続・委託：3,857 千円〕＜活動指針＞



福祉のしごと就職フェア in 新潟

### Ⅴ 法人運営機能の強化

- (1) 会計監査人設置・内部管理体制の整備  
〔継続・自主：2,904 千円〕
- (2) 職員の育成・組織力向上〔継続・自主：1,085 千円〕
  - ・ OJT 研修、スキルアップ研修、組織力向上研修等
- (3) 新潟ユニゾンプラザの管理運営  
〔継続・補助：131,340 千円〕
- (4) 県社協事業継続計画（BCP）の評価・改善〔継続〕

## 事業計画体系図

#### 〔基本理念〕

共に生き共につくる福祉社会を目指して

#### 〔基本方針〕

- I みんなで育む福祉のまちづくり
- II 一人ひとりの自立生活づくり
- III 利用者主体の福祉サービスづくり
- IV 福祉を支える人づくり
- V 法人運営機能の強化

#### 〔推進目標〕

- 1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成
- 2 地域福祉活動の振興
- 3 ボランティア活動の振興
- 4 関係機関・団体との連携・支援の推進
- 1 高齢者の社会参加の促進
- 2 高齢者への生活支援の充実
- 3 障害者の社会参加の促進
- 4 生活の安定への支援
- 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進
- 2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実
- 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援
- 2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進
- 3 福祉従事者の養成と資質向上の推進
- 1 組織推進体制・経営力強化

実施事業

実施事項

# 新潟県社会福祉協議会 令和7年度当初予算 資金収支予算内訳表

(単位：千円)

| 会計単位／事業区分／拠点区分 等                               | 収支等区分     | R7当初予算<br>(a) | R6当初予算<br>(b) | 増 減<br>(c) |
|------------------------------------------------|-----------|---------------|---------------|------------|
| 1 一般会計                                         | 総収入       | 2,918,076     | 2,839,206     | 78,870     |
|                                                | 総支出       | 2,489,177     | 2,464,752     | 24,425     |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 428,899       | 374,454       | 54,445     |
| (1) 社会福祉事業 合計                                  | 総収入       | 446,991       | 450,936       | △3,945     |
|                                                | 総支出       | 380,540       | 375,698       | 4,842      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 66,451        | 75,238        | △8,787     |
| ①法人運営事業<br>(理事会・評議員会など)                        | 総収入       | 55,317        | 60,346        | △5,029     |
|                                                | 総支出       | 67,367        | 59,755        | 7,612      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | △12,050       | 591           | △12,641    |
| ②連絡調整事業<br>(要望活動、福祉団体懇談会など)                    | 総収入       | 7,974         | 5,618         | 2,356      |
|                                                | 総支出       | 7,316         | 4,482         | 2,834      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 658           | 1,136         | △478       |
| ③企画・広報事業<br>(広報活動、顕彰事業など)                      | 総収入       | 16,325        | 12,748        | 3,577      |
|                                                | 総支出       | 16,325        | 12,748        | 3,577      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ④地域福祉活動推進事業<br>(成年後見促進・法人後見支援事業、市町村社協<br>支援など) | 総収入       | 46,066        | 36,861        | 9,205      |
|                                                | 総支出       | 46,066        | 36,861        | 9,205      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑤高齢者福祉活動推進事業<br>(明るい長寿社会づくり事業など)               | 総収入       | 73,129        | 90,097        | △16,968    |
|                                                | 総支出       | 73,129        | 90,097        | △16,968    |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑥障害者福祉活動推進事業<br>(福祉の店パレット新潟店など)                | 総収入       | 18,035        | 20,865        | △2,830     |
|                                                | 総支出       | 12,436        | 14,035        | △1,599     |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 5,599         | 6,830         | △1,231     |
| ⑦福祉サービス利用支援事業<br>(日常生活自立支援事業など)                | 総収入       | 68,837        | 68,584        | 253        |
|                                                | 総支出       | 68,837        | 68,584        | 253        |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑧福祉従事者確保・就労促進事業<br>(福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など)   | 総収入       | 63,464        | 63,908        | △444       |
|                                                | 総支出       | 63,464        | 63,908        | △444       |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑨共同募金配分金事業<br>(福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)            | 総収入       | 11,929        | 12,746        | △817       |
|                                                | 総支出       | 11,929        | 12,746        | △817       |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑩助成事業<br>(福祉施設への助成)                            | 総収入       | 23,865        | 17,925        | 5,940      |
|                                                | 総支出       | 23,865        | 17,925        | 5,940      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ⑪基金管理運営事業<br>(県民たすけあい基金など)                     | 総収入       | 102,288       | 96,989        | 5,299      |
|                                                | 総支出       | 30,044        | 30,308        | △264       |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 72,244        | 66,681        | 5,563      |
| (2) 公益事業 合計                                    | 総収入       | 2,382,396     | 2,310,081     | 72,315     |
|                                                | 総支出       | 1,989,192     | 1,976,202     | 12,990     |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 393,204       | 333,879       | 59,325     |
| ①福祉従事者養成・資質向上事業<br>(社会福祉研修センター事業)              | 総収入       | 31,402        | 28,894        | 2,508      |
|                                                | 総支出       | 17,157        | 16,061        | 1,096      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 14,245        | 12,833        | 1,412      |
| ②介護支援専門員養成・資質向上事業<br>(ケアマネ実務研修受講試験事業)          | 総収入       | 23,507        | 29,884        | △6,377     |
|                                                | 総支出       | 14,392        | 15,445        | △1,053     |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 9,115         | 14,439        | △5,324     |
| ③福祉従事者退職共済事業                                   | 総収入       | 1,551,200     | 1,511,820     | 39,380     |
|                                                | 総支出       | 1,551,200     | 1,511,820     | 39,380     |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 0             | 0             | 0          |
| ④貸付事業<br>(介護福祉士等修学資金など)                        | 総収入       | 776,287       | 739,483       | 36,804     |
|                                                | 総支出       | 406,443       | 432,876       | △26,433    |
|                                                | 当期末支払資金残高 | 369,844       | 306,607       | 63,237     |
| (3) 収益事業 合計                                    | 総収入       | 99,805        | 89,362        | 10,443     |
|                                                | 総支出       | 130,561       | 124,025       | 6,536      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | △30,756       | △34,663       | 3,907      |
| ①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業                               | 総収入       | 99,805        | 89,362        | 10,443     |
|                                                | 総支出       | 130,561       | 124,025       | 6,536      |
|                                                | 当期末支払資金残高 | △30,756       | △34,663       | 3,907      |

※社会福祉法人会計基準により内部取引を相殺消去して表記しているため、各事業間の合計は一致しません。

※総収入額に前期末支払資金残高を含めています。

## 貸付制度のご案内

厚生労働省の要綱に基づき、国と新潟県（ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は新潟市も）が貸付原資を出し合い、新潟県社会福祉協議会が運営する貸付制度について、ご案内します。  
※各貸付制度の詳細や借入申込申請時期は、新潟県社会福祉協議会のホームページで確認できます。

### 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

- 目 的** 児童養護施設等を退所した人などの就職や進学、資格取得を支援します。
- 貸付対象** 児童養護施設を退所、里親等委託解除した人、または退所・委託解除後5年以内の人。資格取得支援費は入所中・委託中の人も可能。
- 貸 付 額** ①生活支援費(医療費含む)：月額5万円以内  
(大学等への進学者の生活費)  
※定期的に医療機関を受診する進学者は貸付期間のうち2年間、医療費の実質額を加算(医療費)  
②家賃支援費：家賃額(上限あり)  
(大学等への進学者、または就職者の1カ月当たりの家賃相当額)  
③資格取得支援費：25万円以内  
(資格取得費用)
- 返還免除** 就職した日から5年間就業した場合、返還が免除されます。  
(資格取得支援費の返還免除は2年間の就業継続)

#### お問い合わせ先

新潟県社会福祉協議会  
生活支援課  
TEL 025-281-5605

#### ホームページ

新潟 県社協 と 検索 

### ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

- 【訓練促進資金】**
- 目 的** ひとり親家庭の親の方の養成機関への入学や取得資格を活かした就職のための準備資金を支援します。
- 貸付対象** 「高等職業訓練促進給付金」を受給している人のうち、取得する資格が必要な業務への従事を希望する人。
- 貸 付 額** ①入学準備金：50万円以内  
(養成施設入学金等)  
②就職準備金：20万円以内  
(就職する際の準備費用)
- 返還免除** 取得した資格が必要な業務に5年間、従事した場合、返還が免除されます。
- 【住宅支援資金】**
- 目 的** ひとり親家庭に対し、入居住宅の家賃を支援します。
- 貸付対象** ・児童扶養手当の支給を受けている人。  
(児童扶養手当の支給を受けている人と同等の所得水準の場合を含む)  
・母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組む人。なお、所得が児童扶養手当の支給を受けている人と同等の水準を超えた場合であっても1年以内の人については対象とする。
- 貸 付 額** 月額上限4万円、12カ月の範囲内で最大48万円。
- 返還免除** 現に就業していない人が住宅支援資金による貸付を受けた日から1年以内に就職し、また、就業中の人が貸付を受けた日から1年以内にプログラム策定時より高い所得が見込まれる転職をした後、1年間、就業継続した場合は返還が免除されます。

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか？ ～お気軽にご相談ください～

新潟県認知症  
コールセンター

相談電話

025-281-2783

にんしよう な や み

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)  
【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

## ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

| 保険金の種類  |                      | プラン          |            |
|---------|----------------------|--------------|------------|
|         |                      | 基本プラン        | 天災・地震補償プラン |
| ケガの補償   | 死亡保険金                | 1,040万円      |            |
|         | 後遺障害保険金              | 1,040万円(限度額) |            |
|         | 入院保険金日額              | 6,500円       |            |
|         | 手術保険金                | 入院中の手術       | 65,000円    |
|         |                      | 外来の手術        | 32,500円    |
|         | 通院保険金日額              |              | 4,000円     |
| 賠償責任の補償 | 地震・噴火・津波による死傷        |              | ×          |
|         | 賠償責任保険金<br>(対人・対物共通) |              | ○          |
| 年間保険料   |                      | 350円         | 500円       |

商品パンフレットは  
コチラから( ふくしの保険 )  
ホームページ

## &lt;重要&gt;

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

## ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

にいがた・  
新テーマ型募金

# 本年度も募集開始

共同募金  
広域助成事業

新潟県共同募金会は令和7年度の2つの募金に関する募集を始めます。

## 「にいがた・新テーマ型募金」

「にいがた・新テーマ型募金」の助成対象となる事業の募集を4月1日から開始します。

この募金は、地域福祉の課題解決を目指す県内団体の活動への寄付で、どの団体のどの活動を応援するかを寄付する人が決めて募金する仕組みです。

募集期間は5月20日までです。例年よりも募集時期が早くなっております、ご注意ください。

募金期間は令和8年1月1日～3月31日。

## 【共同募金広域助成事業】

令和7年度「共同募金広域助成事業」を募集します。募集する事業名は下記の「表」をご覧ください。

## 令和7年度共同募金広域助成事業募集のお知らせ

|      |                                                                                              |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名  | 県広域福祉団体助成                                                                                    |
| 対象事業 | 県域を単位とする民間の福祉団体が実施する社会福祉事業等                                                                  |
| 助成基準 | 事業費の80%を上限                                                                                   |
| 事業名  | 社会福祉施設整備助成                                                                                   |
| 対象事業 | 高齢者・障害者・児童などを支援する法定施設で、施設利用者の処遇向上のための備品・車両の整備、施設の増改築や改修など                                    |
| 助成基準 | 事業費の75%（施設改修、備品整備は200万円、車両整備は150万円）を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外                                      |
| 事業名  | 地域活動支援センター等支援助成                                                                              |
| 対象事業 | 地域活動支援センター等が実施する研修・交流会の開催、自主製品の材料購入など                                                        |
| 助成基準 | 原則として事業費の90%を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外                                                             |
| 事業名  | 地域活動支援助成                                                                                     |
| 対象事業 | 社会福祉法人、NPO法人、自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う非営利団体・グループが公的助成の対象とならない「生活支援事業」「交流支援事業」「移動支援事業」を実施するために必要な経費 |
| 助成基準 | 原則として事業費の90%（事業内容に応じ100万円から10万円）を上限                                                          |

申請締め切りは5月20日（火）消印有効です。  
また、市町村共同募金委員会でも独自の公募事業を

実施しています。  
【問い合わせ】  
新潟県共同募金会の電話  
025（281）5532

## 【申請用紙等】

新潟県共同募金会ホームページは「新潟 赤い羽根」と検索。申請用紙等をダウンロードしてください。

新潟県共同募金会HP  
こちらから



## 居場所の食堂開催 助成金受け楽しく

ありがとう  
メッセージ

## 「関川村社協

関川村社会福祉協議会から「ありがとうメッセージ」が届きました。

関川村社会福祉協議会は子育て支援や多世代交流の場づくりを目指し、子ども食堂も兼ねた「GOGO!! 食堂」を開いています。令和6年度は赤い羽根共同募金から助成金40万円を受

け、計5回、さらに楽しく開催。子どもから高齢者までの居場所として多くの住民に親しまれました。  
「GOGO!! 食堂」は食事提供に加え、絵本の読み聞かせや、服や本、おもちゃなどのお下がり交換会なども行い、子育て世代から好評です。また、参加者だけでなく、ボランティアも自らの特技を生かせる機会にもなっています。



参加者に好評だった「GOGO!! 食堂」

参加者からは「地域のつながりを感じられる貴重な場」「子どもと一緒に楽しく過ごせる」などの声が寄せられ、ご支援していただいた皆様に感謝します。



赤い羽根情報





## 「蒼太と過ごした夏」

自閉症の特徴 温かく描く

大賞作者

かくらみのりさんインタビュー

支援校教員、娘は医療的ケア児

## 住みやすい社会願

新潟市西区社会福祉協議会が主催して全国

公募した「地域福祉マンガ大賞」で、大賞を受賞した「蒼太と過ごした夏」の作者、かくらみのりさん（ペンネーム、熊本県在住）にオンラインでインタビューしました。かくらさんは障害児教育に携わる一方、漫画執筆にも情熱を注いでいます。一問一答をどうぞ。写真＝熊本からオンラインでインタビューに応じる「かくらみのり」さん

— 地域福祉マンガ大賞の大賞受賞、おめでとうございます。作品募集を知り、どう受け止めた？

「福祉がテーマとは珍しいな、と。ストックした作品から30ページ作品を選び、読みやすいよう10ページに圧縮して応募しました」

— 絵もコマ割りもプロ並みに見えるが、描き始めた

のはいつから？

「手塚治虫作品が好きだった小学生のころです。2歳上の兄は漫画が上手で、まねして始めました」

— 受賞経験は？

「大賞は今回が初めてです。20代は成果が出ず、30代で小さな賞を受賞しました。一時期、大賞を受賞したら漫画家に転身しようと考えていましたけど、実現せずじまいでした」

— 受賞作は自閉症の特性を取り上げているが、取材して学んだのか？

「私は支援学校中学部の教員として働いています。大学時代も障害者支援サークルで活動し、障害や福祉が身近だったため、知識も身に付きました」

— 教職をなげうって漫画家転身を夢見た？

「10年前に生まれた双子の娘は2人とも先天性の重度疾患があり、次女は2度目の心臓手術に耐えきれず1歳半で他界しました。長女は医療的ケア児で、恒常的な介護と看護が欠かせません。漫画家になれば看護しながら在宅で活動できると考えたのです」

— 受賞作で読んだ人に伝

えたかったことは？

「誰もが暮らしやすい環境や社会を考えるきっかけになってくれたら」

— もっと具体的に。

「例えば、長女のような医療的ケア児の場合、送迎支援や災害時の対応の充実などが整うとありがたい。そうすれば本人も保護者もゆとりができて、より生活を楽しめると思います」

— 4コマ漫画を描き続けているそうだが、漫画の魅力や力をどう思う？

「親しみやすさです。難しい内容でも入り口が漫画なら目を通してもらえるかもしれない。きっかけになる力があると思います」

— 大賞受賞、ご家族も喜んでくれた？

「『おめでとう』と妻も子どもたちも言ってくれました。考えて見れば、娘の看護があるからインドア生活に徹し、その中で漫画も描いてきました。だから、大賞は長女が取らせてくれたと思っています」



「蒼太と過ごした夏」作品一部

# 女性2人で葬儀屋 「珍しいがられます」

## 細やかな対応目指し

### エンディングノート作成呼び掛け

葬儀をはじめ、誰にも看取られずに孤独死（孤立死）した人の部屋の特殊清掃、遺品整理・生前整理、お墓、相続など「死」の周囲の一切を引き受ける一般社団法人「ゆうあい」（新潟市西区）が活動を始め1年余り。活動の中心は法人の女性2人とあって「女性の葬儀屋さん」として話題になる一方、遺品整理から発展した「きもの再生プロジェクト」、さらには死をタブー視せず話し合う「デスカフェ」にも関わるなど、活動の幅を広げています。

代表理事・小柳さん 職員・小田島さん



「ゆうあい」の小柳容子代表理事④と小田島正枝さん

活動の中心の2人は代表理事・小柳容子さんと職員の小田島正枝さん。2人は以前、同じ職場の同僚で「遺

族に寄り添った、細やかな対応の葬儀」を目指して令和5年12月に社団法人を設立、活動を始めました。病院で亡くなった人の遺族から依頼があれば、遺体引き受けに向かいます。

「霊安室に現れた葬儀業者が女性の私たちだと、驚かれることが多い。でも、肉親を亡くしたばかりのご遺族は不安なので、女性の私たちを見て安心されるようです」と2人。

法人の葬儀業務を広告宣伝はしていないが「簡素な

## 遺品整理→きもの再生活用 デスカフェ、納棺体験企画

活動拡大中

葬儀」をうたう取次会社に登録済みで、そこを経由して葬儀依頼が来るという。

「出棺が1日3件のこともあったが、普段はほぼ3日に1件の依頼です」

遺体に接する抵抗感については「そんな気持ちは全然、ありません。その人の最期に接することができ、むしろ、ありがたいと思っています」。

小柳さんには忘れられない葬儀があります。「最初に担当した葬儀で、亡くなったお母様に娘さんから死に化粧を施してもらいました。すると、お母様が微笑むように見えてきて……。ご遺族の真心のこもった納棺

がいかに大切か、と痛感しました」。この経験から「納棺はご遺族中心で。私たちはお手伝い」と強調する。小田島さんも葬儀への思いがある。「母を亡くした

際、私の娘はまだ幼くて手が離せず、母と十分なお別れができず悔いが残った。その後、父が亡くなった際は手作りで心に残る葬儀になった」と、遺族が手を尽くす大切さを訴えます。

2人とも呼びかけるのはエンディングノート作成の大切さです。「肉親を亡くした直後の遺族は混乱の最中で、葬儀について考える余裕はない。それを避けるためにも自分が亡くなったらどうしてほしいか、エンディングノートに書いて」また、最近は遺品整理で不要とされた着物に着目。洋服へのリメイクなど、再生活用に取り組みます。また、死について語り合う「デスカフェ」開催に関わり、納棺体験を行うなど、活動の幅を広げています。

※「ゆうあい」の電話は025(311)1260。

# 自閉症 4月2日「世界啓発デー」 共生社会へ理解浸透を 「発達障害啓発週間」<sup>2日</sup><sub>8日</sub>

4月2日は「世界自閉症啓発デー」で、2～8日が「発達障害啓発週間」です。意味）ライトアップなどが行われます。

2007年の国連総会で決議され、自閉症について全世界の人々に理解してもらう取り組みが行われます。国内でも世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が

つぐられ、厚生労働省や一般社団法人・日本自閉症協会の主催で自閉症への理解を進めるためのシンポジウムや、自閉症シンボルカラーのブルー（癒やしや希望の）



世界自閉症啓発デーのポスター

こうした自閉症をはじめとする発達障害について知ることは誰もが生きやすくなり、暮らしやすい地域共生社会の実現に欠かせないと指摘されています。

## 福祉の店 パレット情報

### パレット新潟店営業日

| 2025年 4月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6        | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13       | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20       | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27       | 28 | 29 | 30 |    |    |    |

| 2025年 5月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4        | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11       | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18       | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25       | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

## ◆人事異動◆

### 新潟県社会福祉協議会

(4月1日付)

事務局次長、地域福祉課長事務取扱（福祉サービス運営適正化委員会事務局長事務取扱を免ずる）横堀直樹▽生活支援課長、福祉サービス運営適正化委員会事務局長兼務（生活支援課長）笹川直樹▽福祉人材課主査、総務管理課主査兼務（企画広報課主査）土田洋子▽地域福祉課主任（福祉人材課主任）渡邊貴浩▽地域福祉課主任（福祉サービス運営適正化委員会事務局主任兼務を免ずる）遠間美央▽福祉人材課主事（生活支援課主事）齋藤日和

## 【昇任】

生活支援課参事（地域福祉課長代理）河野弘輝

## 【採用】

事務局次長・伊野智彦▽企画広報課参事・橋本 伸▽総務管理課主任・中村清美▽総務管理課嘱託ユニゾンプラザ施設管理室・長谷川美香▽福祉人材課嘱託・藤岡由紀子▽福祉サービス運営適正化委員会事務局嘱託・阿部 貢

## 【退職】

3月31日付  
関原 貢・事務局次長▽佐野正則・企画広報課参事▽田邊雅美・総務管理課嘱託▽阿部 ゆづり・総務管理課嘱託ユニゾンプラザ施設管理室▽中野 咲・福祉人材課嘱託▽八子泰斗・福祉サービス運営適正化委員会事務局嘱託

## 編集後記

別れの季節の3月。中旬に「福祉にいがた」4月号の制作ピッチを上げながら「何事にも終わりはある」と自らに言い聞かせた。私事だが、年度末で県社協退職となった。年度途中からの4年7カ月間勤め、計55回の「福祉にいがた」制作に携わった。障害や生きづらさの当事者を積極的に紹介し、読まれる誌面づくりや、さまざまな相互理解を自分としては目標にできた。この「編集後記」欄も設けた。わずかながら5年とはいえず、平たんではなく、くじけそうになったことも何度かあり、その都度、励まされた。半面、意図せずご迷惑もお掛けしたかもしれず、出会った方々に感謝とお詫びを申し上げます。新聞社を退職・再雇用した後、再就職の機会に恵まれた。1人での取材・編集は結構忙しくて「老いるヒマがない」と感じるほど充実していた。1つ誤算があった。退職の寂しさを、またしても味わったことだ。張りのある日々の後に、やるせない思いが待っていたのだ。だとしても、貴重な日々を刻めたのは確か。だから、もう一度、いや、何度でも、言わせてほしい。ありがとうございました。お世話になりました。

(佐)

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人／関原 貢  
定 価／5 円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた  
令和7年4月1日発行（毎月1日発行）  
印刷／島津印刷株式会社